

テーマ 地域社会と密接な連携を築こう

— P T A活動を通して地域の和を広げる —

岡崎市立岡崎小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は明治 6 年開校の歴史ある学校である。昭和 52 年、それまで J R 岡崎駅のすぐ西にあった校舎を現在の地に移転した。5 年ほど前までは学校周辺には沼地や田園が広がり、野鳥の宝庫であったが、近年、大規模な土地区画整理事業が進み、大きな病院や商業施設の建設が計画されている。それに伴い新しい宅地が整備されマンションの建設も進んでいる。

現在、児童数 651 名、実家庭数 512 の中規模校であるが、毎年 30～40 名ほど児童数が増加しており、今後、加速度的に児童数・実家庭数は増加していくものと考えられる。

2 研究のねらい

転入してくる保護者の多くは核家族で共働き家庭である。保護者同士のつながりも地域とのつながりもなく、不安な気持ちを持たれている場合もある。また、下校時や下校後の安全を考えると、地域全体で子供たちを見守り育てる体制が必要となる。そういった体制を築いていくためには、古くからの住民と新しい住民との関係づくりが重要になってくる。幸い、保護者は子供への関心が高く、両親そろって学校行事に参加される方も多い。子供を介して P T A 活動を盛んにし、さらには P T A が地域の行事に積極的に関わっていくことで、保護者同士はもとより、児童や保護者と地域の方々との連携を深めていくことができると考えた。

3 研究の仮説

- (1) 魅力的な P T A 行事を企画することで、保護者の積極的な参加を促し、保護者同士のつながりを深める。
- (2) 地域の行事に積極的に P T A が関わっていくことで、子供や保護者と地域の方々とのつながりを深め、子供たちを地域全体で見守り、育てるという関係を築く。

4 研究の方法

学校や地域の行事の中で、保護者同士の関わりや地域との連携を深める P T A 活動を計画した。

4 月 26 日	各種団体交流の集いへの出席とお手伝い
5 月 30 日	学区民体育祭でのバザーの実施
6 月・8 月	親子奉仕作業(草取り)実施
8 月 23 日	学区夏祭りでのゲームブースを担当
10 月	あいさつキャンペーン (10 月 8 日～22 日)・あいさつ運動の実施
11 月	震災時宿泊体験会で炊き出しのお手伝いの実施 (10 月 31 日～11 月 1 日)
12 月 3 日	マラソン大会にて餅つき大会の実施

5 研究の実践

4月に学区総代会の主催で「各種団体交流の集い」が開かれる。PTAも地域の団体の一つとして参加している。また、小学校の男性保護者とそのOBで結成している「学区おやじの会」も同様で、学区行事を運営したり補助したりするなど、重要な役割を担っている。おやじの会とも協力して子供や保護者を含めた学区民の交流を図った。以下、特に地域との連携を強めた行事について紹介する。

(1) 学区夏祭り

8月に小学校の運動場で夏祭りが行われた。昨年度より児童が制作に加わってきた夏祭り音頭が6月に完成した。そのお披露目を兼ねた踊りの練習会をPTAが開催し当日に備えた。当日は約800人の学区民が参加し、大盛況のうちに終わることができた。PTAが担当したゲームブースも終了時刻を待たずに景品が完売するほどであった。



夏祭り音頭を踊る参加者

(2) 震災時宿泊体験

「学区おやじの会」の主催により10月29日(土)～30日(日)にかけて、震災を想定した避難生活の体験会を実施した。PTAは炊き出しを担当した。会場は岡崎小学校の体育館で参加者は保護者48名、児童80名、学区民7名の計135名であった。炊出し体験や消火体験などを実施し、災害時には各自ができることを行い、学区の皆さんの避難生活を支えていこうという意識を持たせることができた。



炊き出しのお手伝いをするPTA役員

(3) 餅つき大会

12月3日(土)のマラソン大会の開催に合わせて餅つき大会を実施した。せいろと臼を4セット用意し、走り終わった学年からクラスごとに餅つきができるようにした。PTAの各部の委員は、餅の味付けと児童への取り分けを担当した。蒸す、つく担当をおやじの会に依頼し、会員以外の男性保護者にも手伝いを募ったところ43名の参加が得られた。その中には、転入してきた保護者3名や1年生の保護者19名も含まれており、子供と餅つきを楽しむと同時に、保護者同士の交流を深めた。



子供と一緒に餅つきを楽しむ男性保護者

6 成果と課題

本学区では、町の役員やお年寄りを中心に「3Cパトロール隊」が結成され、登下校の見守りをしている。毎日、隊員の方々と楽しそうに話をしながら通学路を歩く子供の姿を見ることができる。また、隊員の方からからも、「子供たちがあいさつをしてくれるのでうれしい」という声があがっており、隊員数も増えつつある。今後、さらに地域との交流を深めていきたい。そのためにも魅力あるPTA行事を開催し、PTA活動への理解を深めていきたい。